



平成 27 年 10 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社 鉄 人 化 計 画
代表者名 代表取締役社長 堀 健一郎
(証券コード 2404 東証第二部)
問合せ先 執行役員管理本部長 国本 亮一
TEL 03-3793-5117

特別損失の計上および通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 10 月 13 日の取締役会において、特別損失を計上するとともに、平成 26 年 10 月 15 日に公表いたしました平成 27 年 8 月期の通期業績予想を下記の通り修正する旨の決議をいたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上およびその内容

[減損損失の計上]

当社が所有する固定資産のうち、投資額の回収が長期に及ぶと判断したカラオケ運営事業の用に供する店舗の建物設備ほかにつき、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失 320,434 千円を特別損失に計上いたします。

2. 平成 27 年 8 月期通期連結業績予想の修正(平成 26 年 9 月 1 日～平成 27 年 8 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,980	552	593	335	53.95
今回発表予想(B)	9,841	422	441	290	46.77
増減額(B-A)	△138	△129	△151	△44	
増減率(%)	△1.4	△23.5	△25.6	△13.4	
(参考)前期実績 (平成 26 年 8 月期)	10,151	305	290	133	21.44

3. 修正の理由

カラオケ運営事業の年末商戦、夏場以降のセグメント戦略実行の奏功による繁華街店中心の伸張やフルサービス型珈琲ショップ運営事業が好調であった一方、不採算店2店舗の閉鎖等もあり、売上高、営業利益及び経常利益が予想を下回る見込となりました。また、当期純利益につきましても、コア事業であるカラオケ運営事業の改革と成長のために事業の集中と選択を進める目的で、連結子会社のからふね屋珈琲の全株式の売却や保有不動産の一部売却を進め特別利益を計上する一方、上記店舗に係る減損損失の計上等の影響により、予想を下回る見込となりました。

4. 平成27年8月期通期個別業績予想の修正（平成26年9月1日～平成27年8月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,000	506	287	46.34
今回発表予想(B)	8,732	366	129	20.79
増減額(B-A)	△268	△139	△158	
増減率(%)	△3.0	△27.6	△55.1	
(参考)前期実績 (平成26年8月期)	9,000	365	97	15.74

5. 修正の理由

年末商戦が好調であったほか、夏場以降のセグメント戦略実行が奏功して繁華街店中心に伸張した一方、不採算店2店舗の閉鎖等もあり、売上高、営業利益及び経常利益が予想を下回る見込となりました。また、当期純利益につきましても、コア事業であるカラオケ運営事業の改革と成長のために事業の集中と選択を進める目的で、連結子会社のからふね屋珈琲の全株式の売却や保有不動産の一部売却を進め特別利益を計上する一方、上記店舗に係る減損損失の計上等の影響により、予想を下回る見込となりました。

以 上